

# SSI要素を持つ 分散型キャリア証明サービス

大阪大学基礎工学部情報科学科B2

大阪大学基礎工学部システム科学科B2

漆垣皓大

川瀬陽希

担当PM 山田憲嗣

# ご質問 -Question-

---

これらの証明書、もっていますか？

- ・マイナンバーカード
- ・住民票の写し
- ・パスポート
- ・免許証
- ・学生証
- ・職歴証明書
- ・成績証明書
- ・賞状

**➡ 採用市場における証明書**



書類管理が煩雑


A grayscale photograph of four business professionals in a meeting. Two people are seated on the left, facing right. Two people are seated on the right, facing left. A woman stands in the center, facing the seated group. They are all dressed in business attire. The background is a plain wall with a clock visible in the upper right corner.

学生生活で力を入れたこと

ポテンシャル

前職場での経験・実績





積み上げた経験の証明

# 個人IDの管理



# 自己主権型アイデンティティ -SSI-

## SSI(Self Sovereign Identity) とは？

自分のデジタルなアイデンティティをまるごと自分で管理(W3C)

現在地



### 中央主権型

管理権限は本質的にユーザーではなく、サービス提供者側。

Ex. Google Account

### 連邦型

複数企業でIDを管理することで、同一のIDで複数サービスが利用可能に。  
=Single Sign-On

Ex. Microsoft Passport

### ユーザー中心型

Identityの管理をユーザ自身が行う一方で、技術的な制約から実装上IDの登録や管理が特定のサービスに依存。

### 自己主権型:SSI

管理主体が介在せずに、ユーザー個人が自身のアイデンティティを管理。



# 課題 -Problem-

---

就職・転職者の経歴・スキルの証明にはいくつか問題点があった



書類手続きが煩雑



積み上げた経験の証明が難しい



個人のID管理問題



# 解決策 -Solution-

---

就職・転職者がこれまでの経験を簡単に提示できる証明サービス



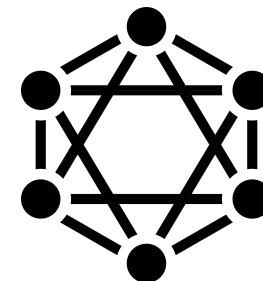
## (検証可能な) オンライン証明書

- ・改ざんの検出
- ・異なる資格の一元管理
- ・スマホで簡単管理 & 提出



## 経験に対する証明

- ・各個人の努力を証明
- ・自分の頑張りを確認
- ・実力やスキルの証明



## 分散化された 個人ID管理

- ・ウォレットで簡単ログイン
- ・個人IDをユーザーが管理
- ・自己主権型IDの実現

# 製品 -Product-

あらゆる証明書を手の中に





Home



Issue Certs



Verify Certs



Manage Certs



Help Center



Settings

0xE84De4A9Dc5Cc8780A270D1247C84F45284bc588







## ●●研究室アルバイト実績

このたびは、深層学習を用いた異常検知手法の評価アルバイトにおいて、優れた実績を上げられました川瀬 陽希（かわせ はるき）様に対し、心より感謝と賞賛の意を表します。

川瀬陽希様は、研究室において学習実装のアルバイトとして、誠実かつ熱心な態度で業務に従事され、深層学習を駆使した異常検知手法の評価において重要な役割を果たしました。彼の協力により、研究プロセスが円滑に進み、有益な成果を得ることができました。

これからも川瀬陽希様のような活気あるご協力を期待し、今回の功績を讃えて賞状を授与いたします。



-  Home
-  Issue Certs
-  Verify Certs
-  Manage Certs
-  Help Center
-  Settings

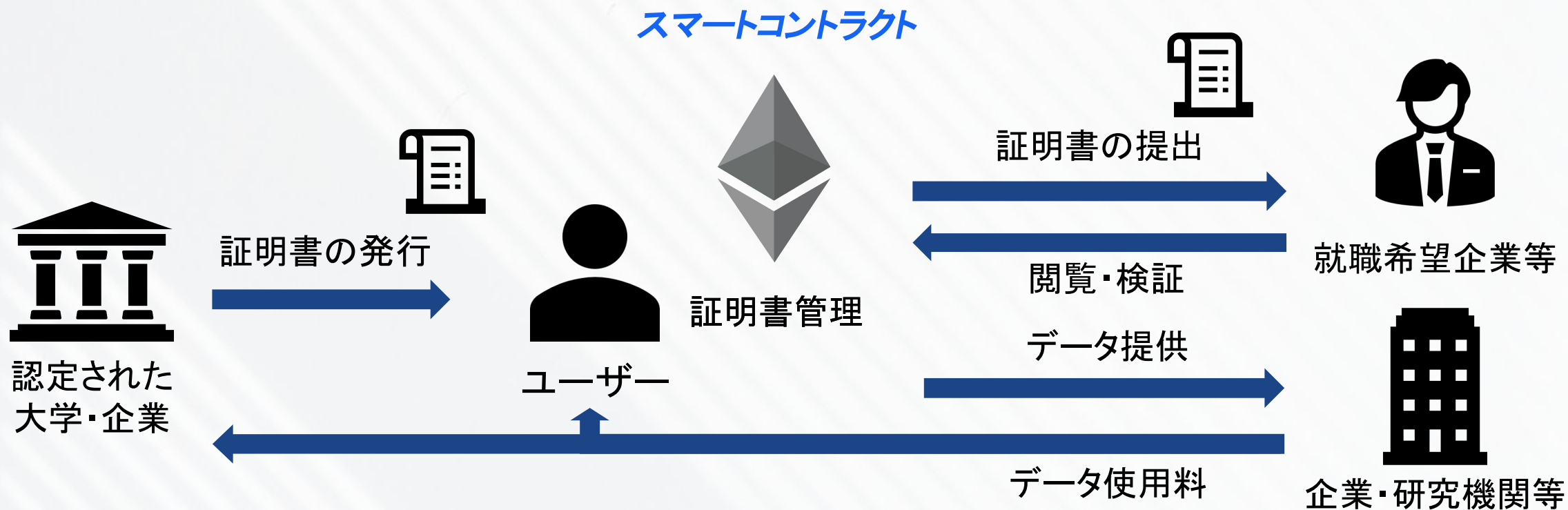
当プラットフォームは、ブロックチェーン技術の力を借りて、資格証明の管理と発行を未来志向かつ効率的に革新しています。現代社会はさまざまな課題に直面しており、環境の変化、健康の脅威、飢餓、資源の減少、自然災害、高齢化などがその中に含まれます。これらの課題に立ち向かいながらも、私たちは新しい解決策を見つけるための柔軟で効果的な手段を求めています。当プラットフォームは、資格証明の管理と発行において、ブロックチェーン技術の利点を最大限に活かし、これらの課題に対応する手助けとなります。私たちは未来志向のリーダーシップを体現し、ブロックチェーンの透明性とセキュリティを駆使して資格証明のプロセスを変革しています。私たちの目標は、社会において新しい価値を生み出し、未来のために確固たる基盤を築くことです。一緒に協力し、資格証明の分野で新たな一歩を踏み出しましょう。未来への挑戦が、より効果的で効率的な資格証明の未来を築く手助けとなります。

Our platform leverages the power of blockchain technology to revolutionize the management and issuance of credentials in a forward-thinking and efficient manner. In the face of contemporary challenges such as environmental shifts, health crises, hunger, resource depletion, natural disasters, and an aging population, societies seek flexible and effective means to find new solutions. Our platform addresses these challenges by utilizing the advantages of blockchain technology in credential management and issuance, providing support in navigating these complex issues. We embody a forward-thinking leadership approach, transforming the credentialing process with transparency and security afforded by blockchain. Our goal is to generate new value in society and establish a robust foundation for the future through this transformation. Let's collaborate to take a significant step forward in the field of credentialing. Embracing the challenges of the future will contribute to building a more effective and efficient future for credential management.



# ビジネスモデル -Business Model-

## データ使用料や人材マッチングで収益化





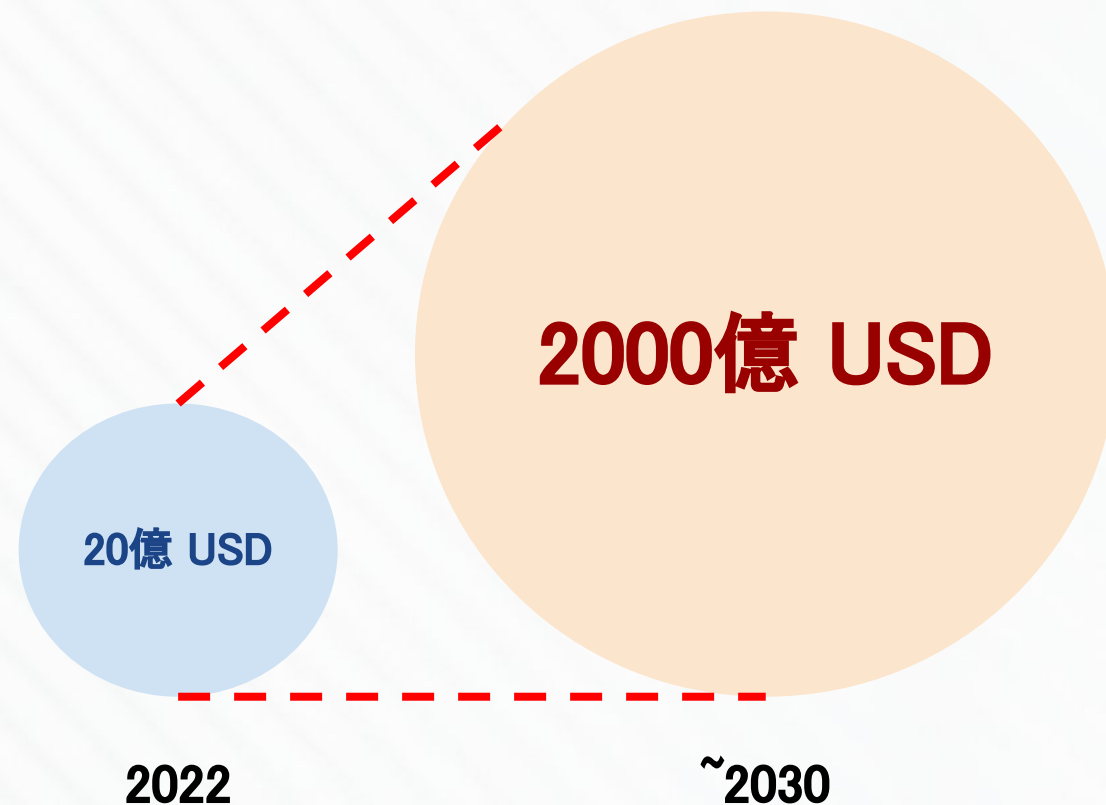
# 市場規模 -Market Size-

## VC (Verifiable Credentials)

年成長率  
17%

[a report by [MarketsandMarkets](#)]

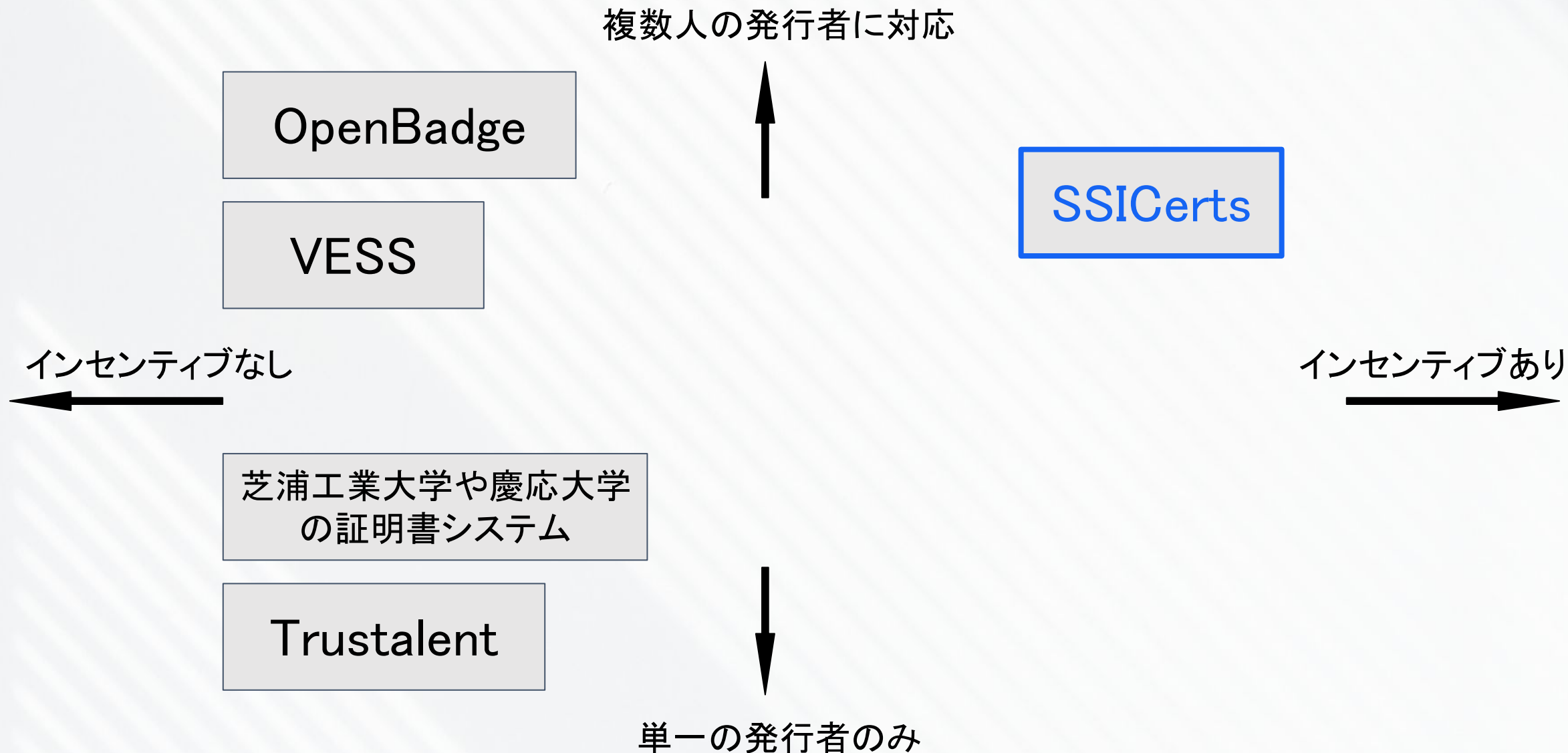
## SBT (Soul Bound Token)



[Everything You Need to Know About Soulbound Tokens ]

# 競合 -Competition-

---



# サービス優位性 -Our Advantages-

---



## 利便性の高さ

- ・ブラウザで利用可
- ・スマホで証明書の一元管理
- ・個人の経験を証明



## データ流通に対するインセンティブ

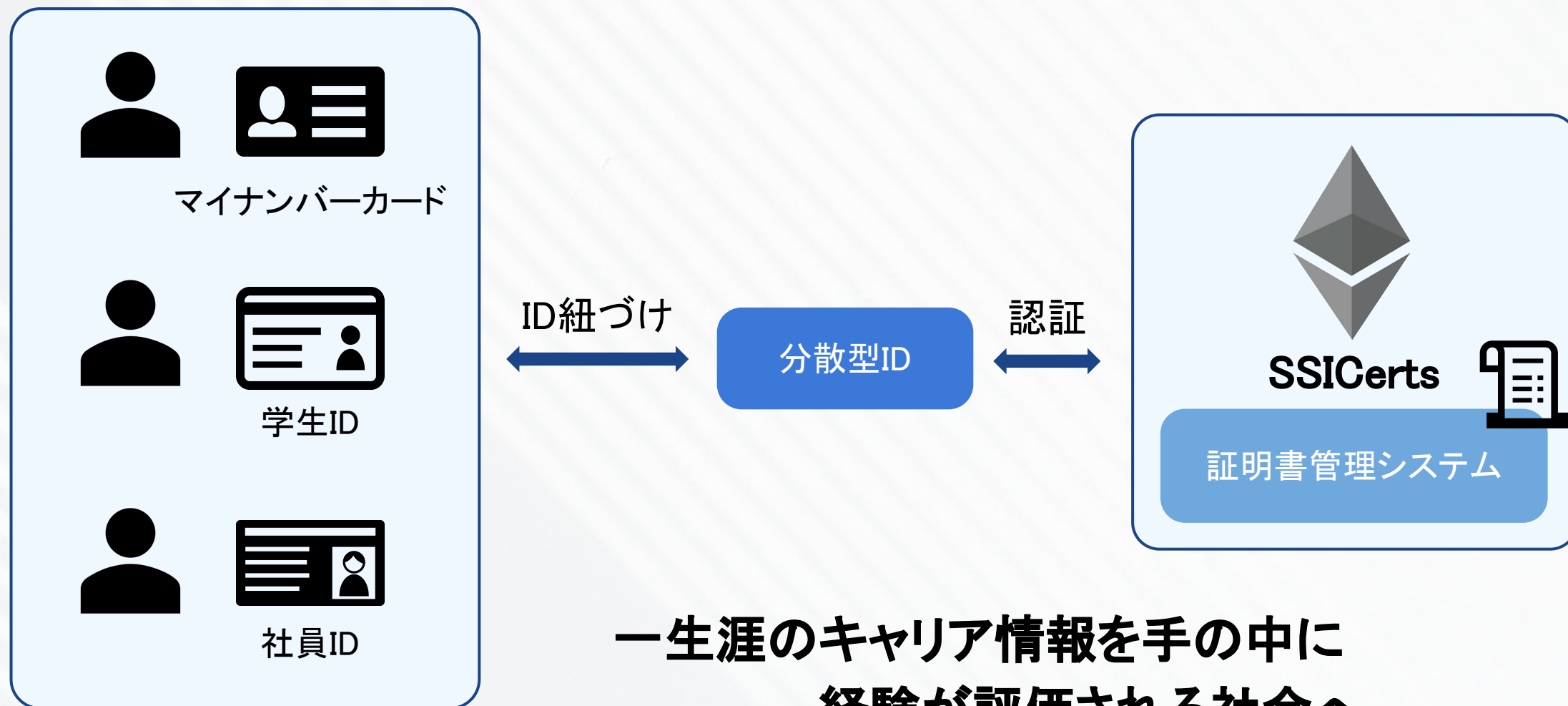
- ・発行に対する動機付け
- ・所有者にもインセンティブ



## 人材採用に対するコスト削減

- ・人材に関する情報の量×質
- ・マッチング率の増加
- ・離職率の低下

# 今後の展望 -Future Vision-



一生涯のキャリア情報を手の中に  
経験が評価される社会へ

- 聞かれそうな質問10個・聞かれると嫌な質問10個
  - 発行者がわざわざガス代を負担して発行してくれるのか？
  - 資格等の細かい情報を一般企業が気にするのか？普通の履歴書でいけるならそれでいい？
    - 最終的には、対面の面接で評価するのが一番いいと考えているが、より本人のポテンシャルを引き出すツールとして活用(質問などを投げかけやすい)
  - SBTにリンクしたVCの内容は閲覧されないのか？
  - pinataを利用した理由は何か？
  - 既存のサービスは存在しないのか？それらとの差別化は？
  - 法律の観点からみると可能なのか？
  - 国内の市場規模？伸びてる分野？
  - 一回の使用料の単価×アクセス数？市場の企業の何%が使用するとこれだけの市場が形成されると想定される？→根拠立て
- ターゲット
  - 就活(新卒・転職)
- 課題感
  - 採用担当者によって齟齬が生まれる「かんぴゅーた」
    - 就活生の上辺だけではなく、その人生の背景を把握することで「採用担当者が見抜けない」と言った不手際が減る
    - (任意)前の職場からの引き継ぎという新たな概念
      - 本人の了承が得られれば、短所・長所すら発行するのもあり(公開するかは別)
  - 採用に関する書類手続きの煩雑さ
    - 経験
  - 採用担当者と就活生との間にこれまでの自分の生き方を表す「共通の言語」(証明)がなかった
- 解決方法
  - 導入することで業務の負担を減らす
- 動機
  - 発行者側
    - 一人ひとりの頑張りを評価したい⇒発行してあげよう
    - 今のところは資格などの定量的なものだけにする(時間などは改ざんが可能)
  - 保持者側
    - 自分の頑張りが視覚的に見える
    - 就活のときに他者との差別化
  - 検証者側
    - 優秀なポテンシャルのある学生にアプローチ
    - 書類はいらずに簡単に処理可能